



高橋あきら 後援会だより

令和6年7月 第5号

発行：高橋あきら後援会
後援会：日立市河原子町1-1-1
電話：0294-33-1273
FAX：0294-32-3620

令和6年 第2回日立市議会定例会を開催

6月6日(木)から20日(木)までの15日間の会期日程で、定例会が開催されました。

本定例会の中で提出された議案等は計20件であり、それぞれ所管する事項毎に各委員会へゆだねられ、慎重に審査・調査を行いました。

その後、本会議の中で、各委員長より報告があり、議会としての採決の結果、全議案とも原案可決ならびに原案承認となりました。

議案の内訳		件数[件]
1	令和6年度一般会計補正予算	1
2	条例関係	5
3	その他 (市道路線認定・廃止、専決処分等)	5
4	報告	8
5	陳情・請願	1

令和6年度一般会計補正予算【補正額】25億3,618万円

原案可決

主な事業(補正の概要)

1. 物価高騰対応重点給付金給付事業費

【2億9,531万円】

物価高騰の影響を受ける低所得世帯への給付金支給
【支給額】

①10万円/世帯 ②5万円/18歳以下の児童

【支給開始日】8月上旬予定

3. 児童手当支給費【4億7,095万円】

児童手当制度拡充(令和6年10月)に伴い、児童手当費増額

【拡充内容】

- ・支給対象拡大 ・所得制限撤廃
- ・多子加算増額 ・支払月変更(年3回→年6回)

対象者	現状	拡充後
3歳未満	15,000円	15,000円
3歳～小学生	10,000円 第3子以降 15,000円	10,000円 第3子以降 30,000円
中学生	10,000円	
高校生	なし	
所得制限	あり	なし
支払月	3回 2・6・10月 ※各4ヶ月分支払	6回 2・4・6・8・10・12月 ※各2ヶ月分支払

※拡充後の初回支給は12月

5. 住宅管理経費【1,098万円】

城南団地敷地で崩落した法面復旧工事を実施

2. 定額減税補足給付金給付事業費

【13億9,685万円】

国の定額減税で、所得税・住民税から減税しきれない方への給付金支給

【支給額】

所得税控除不足額+住民税分控除不足額

※1万円単位で切上げ

【支給開始日】8月下旬予定

4. 予防接種事業費【3億7,217万円】

新型コロナワクチン定期接種化(年1回・秋冬)に伴い、国の助成に加え、市独自助成を含めた経費計上

【接種費用】15,300円

【助成額】

助成対象区分	助成額[円]		自己負担額[円]
	国	市	
定期接種者(※)	8,300	3,500	3,500
任意接種者	生後6ヶ月～18歳	—	3,500
	妊婦	—	11,800

※65歳以上、重度基礎疾患を持つ60～64歳

6. かみね公園施設整備事業費【1,248万円】

国庫補助採択に伴い、かみね公園における再生可能エネルギーを活用したモビリティ導入可能性調査を実施

民主クラブ(会派)における一般質問

助川議員

1. LINEを活用した情報発信力の強化について
 - (1)若者にも届く情報発信について
 - (2)ニーズに合わせた情報提供について
2. SNSを活用した広聴機能の強化について
3. 持続可能な地域交通の確保に向けた取組について

堀江議員

1. 消防施設の浸水対策について
2. 災害時における情報収集と提供について
 - (1) SNSを活用した災害情報の自動収集について
 - (2)防災士や消防団の協力による災害情報の収集について
 - (3)収集された災害情報の提供について
3. 断水時における応急給水拠点の設定について
4. 上下水道事業のGX化について
 - (1)上下水道施設への小水力発電設備導入について
 - (2)浄水場への太陽光発電パネル設置について

トピックス

日立市公式LINEアカウントが開設

本市では、これまでフェイスブックやX(旧Twitter)、Instagramなどの各種SNSをはじめ、日立市地域情報アプリ「ひたちナビ」を活用し、市民の方々への生活関連情報や防災情報、イベント情報等の各種情報発信を行ってきました。

このような状況の中、さらなる市民サービスの向上を図るべく、全年代で利用されている有効な情報

発信ツールであるLINEにて自治体公式アカウントを開設し、本年6月20日より配信が開始しました。

本市におけるおでかけ・イベント情報をはじめ、防犯・防災情報、市報などの旬な情報がプッシュ通知により配信されることで、非常に役立つものとなっておりますので、ぜひご利用ください。

友達登録方法

LINEアプリの
友だち追加
画面にて

- ① 下記QRコード
読み込み



- ② 下記IDを検索
@hitachi-city

市内各地の天気予報を掲載

避難所開設状況を一目で確認

市内イベント情報を日付毎に掲載

住んでいる地域のハザードマップ確認!

聞き逃した防災行政無線の内容が確認可

ボタン一つで市ホームページへ簡単アクセス

めざすべき「まちの将来像」を策定！（常陸多賀駅周辺地区整備事業）

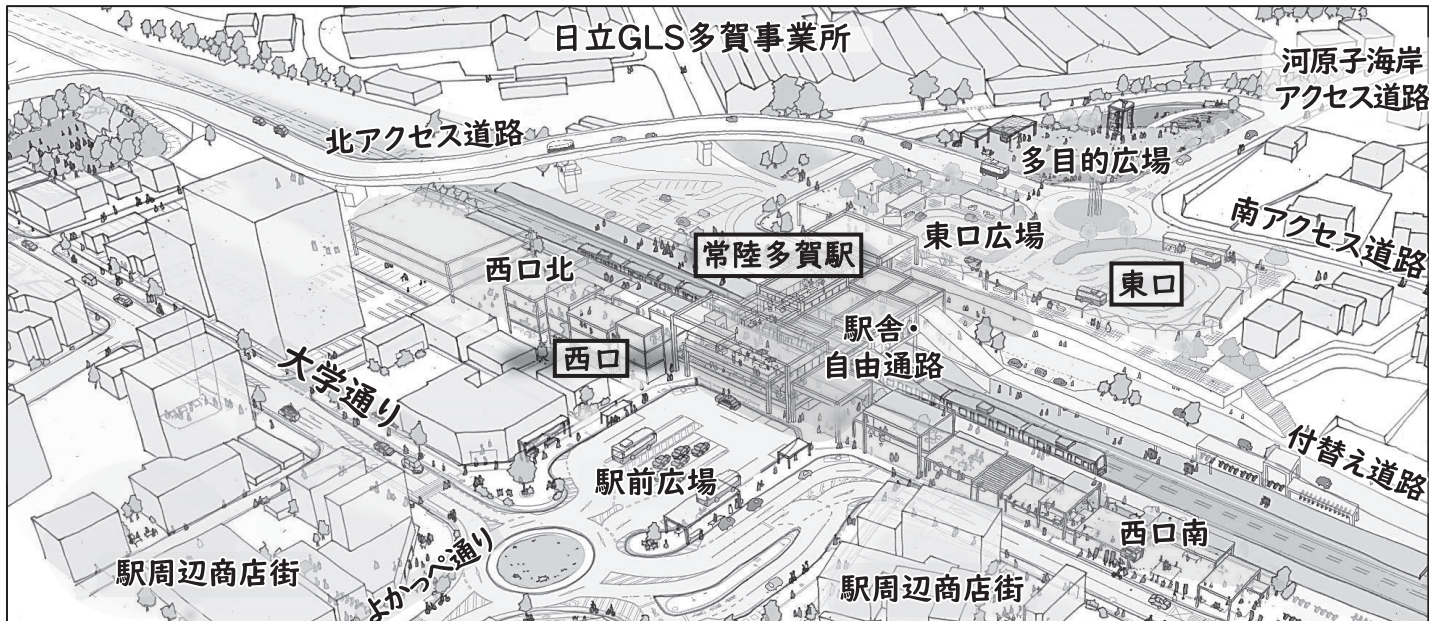
～駅周辺で過ごす時間が楽しくなる 時代が変わっても色あせないまちづくりをめざし～

本市では、常陸多賀駅周辺地区の持続可能な魅力あるまちづくりを計画的に推進するため、令和元年度に策定した「常陸多賀駅周辺地区整備計画」に基づき、事業を進めてきています。

この度、本事業を契機とした新たなにぎわいを創出するため、地区および駅前空間の魅力向上に資する事業用地の効果的な活用方針などを定めるとともに、地域との連携による持続可能なまちづくりの機運醸成を

図ることを趣旨に、めざすべき「まちの将来像」の具体的なイメージを描いたランドデザインが策定されました。

今後は、ランドデザインの実現に向け、整備事業における着実な施設整備等を進めるとともに、将来像を広く共有し、地域の幅広い世代や多様な人材の参画を得ながら、常陸多賀駅周辺地区の持続可能なまちづくりを推進していきます。



各エリアの将来像や機能導入方針

常陸多賀駅周辺地区
まちづくりニュース
(第5号)

その他
詳細情報



常陸多賀駅 ～利便性の高い交通ターミナル～

常陸多賀の顔として誇れるまちの玄関

多賀らしい風景

食べる・飲む

楽しい電車待ち

駅舎・自由通路・駅前広場

- ◇自由通路と駅舎整備
- ◇待合機能
- ◇カフェ・飲食店
- ◇まちの魅力を発信する情報発信機能
- ◇まちの山並みへの眺望、「まちの玄関」にふさわしい景観形成
- ◇交通機能の線路東西分散による混雑解消

西口 ～駅とまちをつなぐ公共公益空間～

西口北(市有駐車場)

西口南(駐輪場・跨線橋)

東口 ～誰もが使いやすくスムーズなアクセス空間～

東口広場と周辺

多目的広場

住まう人・訪れる人が集う
にぎわい空間

商店街へ回遊を生み出す
コミュニケーション横丁

快適に通勤・通学ができる
安全なアクセス空間

多様なアクティビティと
憩いの緑空間

食べる

集まる

使いやすい

くつろぐ

過ごす

買う

くつろぐ

商店街へ
つながる

送る

通う

くつろぐ

催す

遊ぶ

- ◇買い物等の生活利便機能
- ◇図書・学習機能
- ◇若者・まちづくり支援機能
- ◇駐輪場・駐車場の再配置

- ◇交流・飲食機能
- ◇オープンスペース
(交流・滞留機能)
- ◇駐輪場・駐車場の再配置

- ◇新しい広場・道路整備
(アクセス性・防災性向上)
- ◇バリアフリールート整備
- ◇駐輪場・駐車場の再配置

- ◇公園・緑地機能
- ◇桜の新しい風景
- ◇アクセス性向上による河原子海岸の活用促進

119番映像通報システムで現場状況の早期把握と対応が可能に

本市において、本年4月1日より119番映像通報システムの本格運用が開始されています。

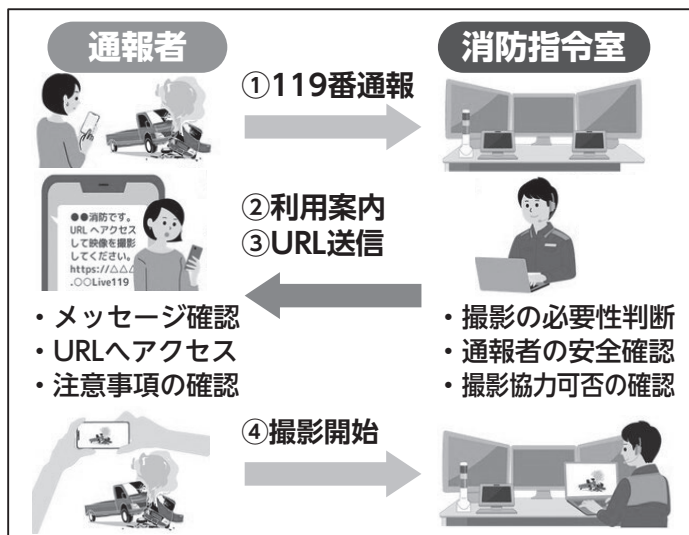
本システムは、119番通報を受けた際、従来の音声通話に加え、通報者のスマートフォンを活用したビデオ通話(本人同意要)を通じ、消防指令室と傷病者の状態や災害現場状況をリアルタイムで共有することで、正確な状況把握と早期対応や活動方針の決定を図ることができるものになります。

さらに、救急要請時には、映像を見ながら口頭指

導を行うほか、必要に応じて傷病者に対する応急手当動画を送信し、救急隊到着前に適切な応急処置を施すことも可能となります。

土地勘がない方からの通報や、音声だけでは説明しづらい現場の場所・状況を正確に共有することができ、迅速かつ的確な消防活動をはじめ、応急処置の口頭指導による救命率向上に寄与するシステムですので、万一の際にはご活用ください。

システム利用の流れ



スマートフォン操作方法



持続可能な資源循環社会実現に向けた協定を締結

本市では、平成21年6月より一般家庭で排出される廃食用油の拠点回収を行っており、バイオディーゼル燃料とする実験を経て、平成27年からは、学校給食共同調理場および保育園の廃食用油回収も加え、資源化業者への有償売却を行い、資源化を推進してきました。

本年6月12日、地域資源を有効活用した持続可能な資源循環社会の構築を図り、脱炭素社会の実現に資することを目的に、ENEOS(株)バイオ燃料部および(株)吉川油脂と「持続可能な資源循環社会の実現に向けた廃食用油の有効活用に関する協定」を締結しました。

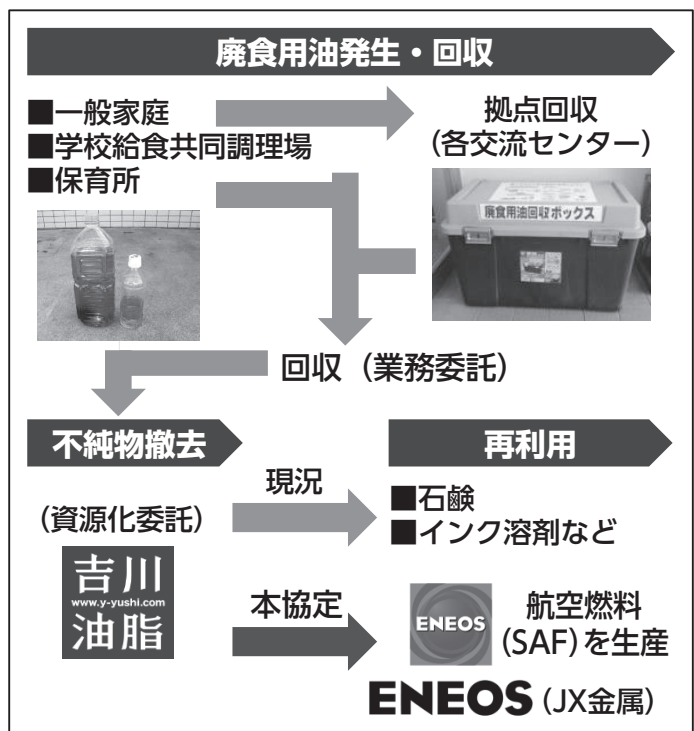
主な協定内容としては、廃食用油の有効活用(航空燃料SAF(※)の生産)や資源循環社会の取り組みに関する情報交換・発信になります。

今後は、廃食用油回収量のさらなる確保に向けた効果的な情報発信等の取り組みを行っていきます。

編集後記

今年は例年より遅い梅雨入りとなり、気温・湿度が高い日が続いています。一方、全国各地で線状降水帯に伴う災害が発生しており、激甚化・頻発化する自然災害への対応が迫られていることから、安全・安心なまちづくりに向けた提言を進めてまいります。高橋あきら

連携のイメージ



※Sustainable Aviation Fuel(持続可能な航空燃料)の略称
従来の化石燃料と比較し、二酸化炭素排出量を約60%~80%削減可能